

2010年11月9日
株式会社みずほコーポレート銀行

日本における人民元建て為替予約取引の取扱開始について

株式会社みずほコーポレート銀行（頭取：佐藤康博）は、人民元建て決済取引の為替ヘッジ手法として新たに人民元為替予約スキームを開発し、このたびパナソニック株式会社との間で第一号案件を約定しました。日本での人民元為替予約取引は、当行では今回が初めてになります。

これまで、人民元の為替変動リスクに対しては、NDF（ノン-デリバラブル・フォワード。直物為替先渡取引の一種）と呼ばれる擬似的な為替予約スキームを活用した差金決済（日本円や米ドルで受払）が一般的でしたが、当行では、日本において人民元決済が可能になったことを踏まえ、人民元についても為替予約で対応する体制を構築しました。これにより、日本と中国との間の人民元建て決済取引について簡便な為替リスクヘッジが可能になります。

人民元の国際化の流れを受けて、人民元建て決済取引は拡大しつつあり、人民元為替レートの運用弾力化が進む中、今後、日本企業の間で本スキームのような為替ヘッジ手法を用いた人民元建て決済取引が増加することが見込まれます。

当行は引き続きお取引先のさまざまなニーズにあわせた資金決済スキームを提供していきます。

以 上